



▶平成23年度総合防災訓練の様子

中央区 総合防災訓練

9月2日(日)実施

総合防災訓練を日本橋地域で実施します。

今年度は、東日本大震災の教訓を踏まえ、防災拠点運営委員会による避難所運営、防災無線を活用した情報収集、伝達を重点に訓練を実施します。

また、大震災発生時は各機関の連携が重要であることから、主会場の堀留児童公園では、町会、防災区民組織、区警察、消防、自衛隊などの防災関係機関が連携した救助訓練などを行うほか、隅田川などの水路を活用した住民の輸送訓練も行います。

なお、主会場の堀留児童公園と日本橋保健センターでは、防災関係機関による各種防災用品の展示など、防災に関する見学や体験ができる防災啓発・展示コーナーもあります。ぜひこの機会にご来場ください。

日時 9月2日(日) 午前9時～正午

会場 堀留児童公園

住民訓練 午前9時～10時

会場 十思スクエア(日本橋保健センター)、日本橋小学校、有馬小学校、久松小学校の各防災拠点

内容 各防災拠点において、実際に

毛布やゴザなどを使って避難所を開設します。また、地域防災無線を使用し、防災拠点開設の連絡や被害状況の伝達など、区との通信運用訓練を実施します。

◎この他、高層住宅における避難訓練、安否確認訓練をリガール日本橋人形町において実施します。

◎防災拠点が十思スクエアの方は日本橋保健センターが会場となります。

防災関係機関連携訓練

時間 午前11時～

会場 堀留児童公園

内容 住民による転倒家具からの救助訓練、初期消火訓練、倒壊建物、事故車両からの救助訓練(消防・警察・自衛隊)

・医療救護訓練(地区医師会・歯科医師会・薬剤師会・柔道接骨師会・消防など)

・一斉放水訓練(消防団など)

・地下鉄人形町駅からの旅客避難誘導・応急手当訓練(都営地下鉄・東京メトロ・日赤奉仕団)

・水路(隅田川、日本橋川)を活用した住民輸送訓練(東京都公園協会)

・応急給水訓練(都水道局)

・緊急物資輸送訓練(東京都トラック協会)

◎この他、自衛隊と地域住民による炊き出し訓練なども行います。

防災啓発・展示コーナー

時間 午前10時～11時50分

会場 堀留児童公園、日本橋保健センター

内容 防災用品、パネル展示
災害用伝言ダイヤル操作体験
地下室等水圧体験訓練
防災ビデオ、DVD放映
地震体験コーナー など

◎会場内では、中央区登録手話通訳者の会による聴覚障害者の方のための手話通訳を実施します。

訓練開始の放送

当日は、日本橋地域で午前九時に防災用スピーカーから訓練開始の放送とサイレンを鳴らします(サイレンは「四秒鳴る・二秒休む」を三回繰り返します)。

◎当日の午前九時に緊急告知ラジオの訓練放送を実施します。あらかじめご承知お願います。

訓練の中止

台風による悪天候などの場合は訓練を中止します(延期はありません)。その場合は防災用スピーカーや広報車などでお知らせします。

交通規制

前日および当日、堀留児童公園および当日、児童扶養手当および児童育成手当の支給要件に、配偶者からの暴力(DV)で「裁判所からの保護命令」が出された場合が加わりました。支給対象となる方は申請が必要ですので、詳しくはお問合せください。

配偶者からの暴力(DV)被害者に対する児童扶養手当等の支給要件が一部改正されました

八月から、児童扶養手当および児童育成手当の支給要件に、配偶者からの暴力(DV)で「裁判所からの保護命令」が出された場合が加わりました。支給対象となる方は申請が必要ですので、詳しくはお問合せください。

主な内容

急性灰白髄炎(ポリオ)定期予防接種の変更のお知らせ…3頁
東京都高齢者向け優良賃貸住宅の事業者を募集します(再募集)…4頁

公園や隣接道路などでは会場設置や訓練のため、歩行者や一般車両の通行に一部規制を行う場合がありますのでご協力をお願いします。

災害時支援ボランティアの募集

震災時の火災やけが人などに対し、消防隊や消防団等だけでは全ての災害現場に対応することが困難です。災害時支援ボランティアはこうした災害時に消防活動を支援する登録制のボランティアです。十五歳以上(中学生を除く)の健康な方が対象です。皆さんの力を応急救護や救助活動に生かしてみませんか。

※問合せ先
京橋消防署防災安全係 ☎(3564)0119
日本橋消防署防災安全係 ☎(3666)0119
臨港消防署防災安全係 ☎(3534)0119

こんには 正長です
中央区長 和田美英



日本を代表する繁華街銀座。その一角、銀座金春通りの路上で八月七日夕、「能楽金春祭り」が開かれ、幽玄の世界が醸し出すひとときで魅了しました。

この地域には江戸時代に能楽金春流の屋敷があり、そうした文化を継承すべく銀座金春通り会などが主催して毎年「八月七日夕刻」開催し、今回で二十八回目。毎年お見えになるファンも増えるなど、銀座の夏の風物詩としてすっかり定着しました。私も袴姿の能奉行役を仰せ付けられ、「金春稲荷」ご祭礼 能楽始めませい」の号令で開始します。

「能」は約六百五十年の歴史を持つ世界最古の舞台芸術で、ユネスコの無形文化遺産として登録されるほど日本が世界に誇る伝統芸能です。こうした文化を大切に育んでいくため、区内では「金春祭り」のほか「中央区能に親しむ会」が毎年、国立能楽堂で公演を続けるなど、お力添えをいただき心強い限りです。

こちらは大東文化大名誉教授の三上紀史先生による解説もあつて親しまれ、七月八日の第二十七回は能「清経」をはじめとした演能で大いに盛り上がりました。